

事業報告書

1 支援団体名	本明川を語る会
2 事業名称	第15回「諫早大水害を語り継ぐ」～7月25日を忘れない
3 実施日時	令和6年7月20日(土) 13:30～15:30
4 実施場所	諫早駅 i i s a 交流広場（諫早駅ビル1階）
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況・内容） 《プログラム》 ① 合唱『本明川に捧ぐ』『せせらぎの詩』 [葡萄の会・コールすみれ] ② 体験者談 [語り手 宮崎清彰さん、大淵公子さん 聞き手 鎮西学院大学土井愛梨さん コーディネーター本明川を語る会] 西村 久美子さん ③ 私たちの防災学習 ～これまでの成果と防災力向上のための取り組み～ [諫早東高等学校] ④本明川の現状について [長崎河川国道事務所] ⑤近年の気候変動について [長崎地方気象台] （事業実施効果） 昭和32年7月の諫早大水害では、死者・行方不明者が630人にのぼり、かつてない被害に見舞われました。この惨禍の記憶を語り継ぎ、防災への関心を高めることを目的に、今年も開催いたします。
6 参加内訳	総人数 150名
	（1）主催者参加 30名
	（2）日本人参加（（1）を除く） 120名
	（3）外国人参加（（1）を除く） 名
7 今後の方針	諫早大水害の惨禍を語り継ぎ、市民の防災意識の高揚に繋げていきたいと思っています。併せて、今後も高校生・大学生など若い方々に参加してもらうことも継続します。

(7月20日 合唱、葡萄の会・コールすみれ)



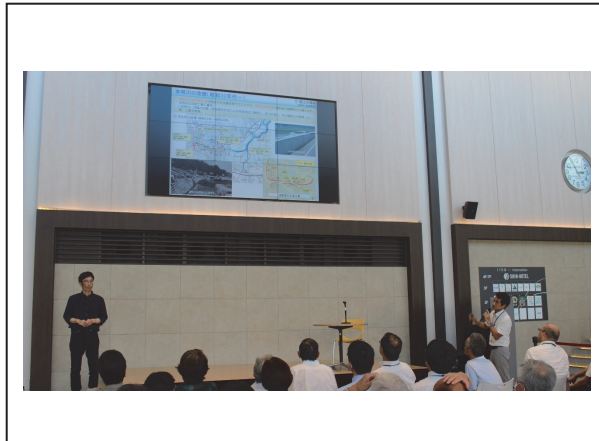
(7月20日 水害体験者談、宮崎さん・大淵さん)



(7月20日 私たちの防災学習、諫早東高等学校)



(7月20日 本明川の現状について、長崎河川国道事務所)



(7月20日 近年の気候変動について、長崎地方気象台) (7月20日 来賓挨拶、国土交通省長崎河川
国道事務所長様)

